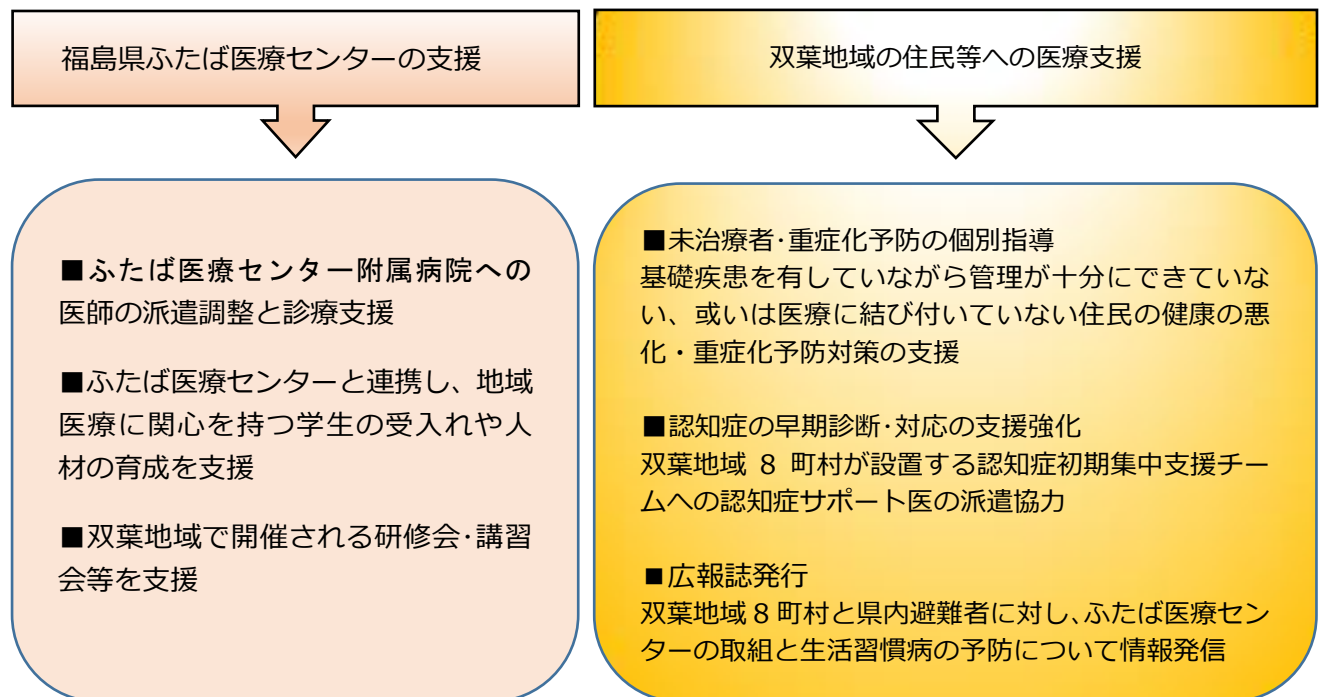


## 「ふたば救急総合医療支援センター」による医療支援について

平成 28 年 4 月、双葉地域の二次救急医療の確保と広域的な総合医療支援を目的として、福島県立医科大学は、「ふたば救急総合医療支援センター」を設置しました。平成 30 年 4 月に「福島県ふたば医療センター附属病院」が富岡町に開院されたことから、同病院に対する医師派遣や遠隔診療による支援のほか多目的医療用ヘリコプターの運用支援を通して、双葉地域の医療提供体制の整備へ向けて全面的に支援しています。

### ふたば救急総合医療支援センターの主な事業内容



## 1 ふたば医療センター附属病院への医師派遣等支援

### 【ふたば医療センター附属病院の医師診療体制】

○365 日救急診療を医師 3 名以上で実施

日当直医師 2 名：24 時間勤務（救急・外科医及び内科医）

業務：救急外来、救急車搬送患者への救急対応と病棟入院患者の診療（診察処置、指示入力など）、病棟担当医のサポート

病棟担当医師 1 名：日勤

業務：病棟の入院患者の診療、入院患者の診療方針決定、患者家族等の説明を担当。

多目的医療用ヘリ搭乗医師 1 名：（令和元年 5 月 31 日までは平日のみ、翌 6 月 1 日から休日を含む 365 日運航体制となる）

○勤務医師数

平 日／日勤帯 4～5 名、夜間帯 2 名

土日等／日勤帯 3 名、夜間帯 2 名

1) ふたば救急総合医療支援センター教員

○日当直、病棟担当（日勤担当）、多目的医療用ヘリ担当

○診療支援

2) 派遣医師の勤務調整

○学内ふたば支援枠 11 講座教員：日当直担当

○学外非常勤医師：土日の日当直担当

3) 勤務医師の送迎、駐在、連絡調整、緊急時対応

○日当直 10:00～翌日 10:30（8:00 医大発、翌日 12 時 30 分医大帰着）

○病棟担当 10:00～15:00

**2 ふたば医療センター附属病院への診療支援調整**

1) 医大放射線科の遠隔読影支援

医大に設置されたふたば医療センター附属病院の情報端末により、放射線画像の評価を医大放射線科が実施(24 時間体制)

2) 医大整形外科の遠隔診療支援

骨折事例等、整形外科疾患について医大整形外科によるコンサルティングの実施(24 時間体制)

**3 学生教育支援調整**

1) 医大医学生の地域医療実習支援

・実習調整と実習指導

2) 他大学医学生の実習支援

\* 現在、ふたば医療センター附属病院を県立医大附属病院の臨床研修協力施設とすることについて、国へ申請中。

**4 地域研修会開催支援**

■ INARS（心停止回避コース）ふたば医療センター附属病院

30 年 5 月 26 日 13:30～17:30

対 象：ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関勤務者

参加者：29 名（うち、インストラクター 11 名）

30 年 11 月 3 日 13:00～17:00 星総合病院

対象者：相双地域を含めた県内医療スタッフ

参加者：30 名

- INARS（心停止回避コース）指導者養成ワークショップ 星総合病院  
30年11月4日 13:00～17:00  
対象者：相双地域を含めた県内医療スタッフ  
参加者：12名
- PSLS（脳卒中病院前救護）  
30年5月26日 13:30～17:00  
対象：ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関、消防勤務者  
参加者：13名（うち、スタッフ6名）
- ISLS（神経救急蘇生）  
30年5月27日 9:30～17:00  
対象：ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関、消防勤務者  
参加者：47名（うち、スタッフ24名）  
30年11月4日 13:00～17:00  
対象：ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関、消防勤務者  
参加者：24名（県内医療スタッフ24名）

## 5 双葉郡町村と連携した住民への医療支援

- 1) 未治療者重症化予防対策の個別指導
  - ふたば医療センター附属病院を含めた三者協定書締結（30.4.1）
  - 浪江町個別指導実施(30.12.3)  
指導対象者2人：初期認知症、健診未受診者等
  - 双葉町個別指導実施（31.2.18）  
指導対象者1人：指定難病認定者
- 2) 認知症初期集中支援チームへの支援
  - 認知症サポート医の派遣に関する協定書締結（30.4.2）
  - 認知症サポート医の派遣に関する協定書締結に係る取り交し式（30.4.17）
  - 認知症初期集中支援チーム員定期会議への参加  
（30.6.13／7.11／9.4／10.10／12.12／31.1.23）  
31.4.24 定期会議(モニタリング結果報告と今後の対応)  
31.7.10 双葉郡8か町村地域包括支援センター研修会（軽度認知障害の理解等）
- 3) 帰還先の医療機関等の相談・紹介
  - 双葉地域の認知症入院医療機関の相談（30.5, 1件）  
認知症患者をふたば医療センター附属病院に入院できないかとの相談

#### 4) 地域ケア会議等における支援

○ふたば救急総合医療支援センター担当分

大熊町地域(避難先)ネットワーク会議：6回参加

(H30年度：5/25, 6/27, 7/27, 10/5, 11/30, 1/17)

#### 5) 行政、福祉、介護等職員に対する研修会活動

・「朝日診療所における経験と課題」(30.8.24)

#### 6) 双葉地域の復興に向けた各種会議への参加

○双葉郡等避難地域の医療等提供体制検討会(30.8.8, 31.2.8)

○薬局開設協議会

30.9.25 富岡町薬局開設協議会 富岡町保健センター

31.4.22 楡葉町薬局開設協議会 楡葉町役場

### 6 避難住民の帰還に向けた医療等提供体制の周知等

#### 1) 糖尿病等、疾患予防対策の健康づくり支援

○双葉町糖尿病教室(30.11.30、31.1.25)

郡山市大槻公民館にて開催

参加者：双葉町民で健診結果で血糖値の高めの方8名

ふたば救急総合医療支援センター 佐川純司先生による講話

「糖尿病でも楽しく暮らすコツ」と題し、糖尿病患者の推移、本県の健康指標、糖尿病とその合併症、糖尿病の予防等について説明した。

○双葉町県北地区栄養教室(30.12.21)

福島市民会館にて開催。

参加者：県北地区に居住の双葉町民で、かつ糖尿病患者（予備群含む）の方 18名

ふたば救急総合医療支援センター 佐川純司先生による講話

「糖尿病と食生活、合併症と予防等」と題し、三大合併症（神経・目・腎臓）とその予防対策（食生活、生活環境、運動等）について説明した。

#### 2) 健康寿命のリーフレット・広報紙等の作成

平成30年度から双葉住民(県内避難者)とのコミュニケーションツールとして、ふたば救急総合医療支援センター取組事業及び生活習慣病等の予防対策等の啓発活動を行うため、ふたば救急総合医療支援センター広報版を発行する。

○発行回数：年4回(30/5月・9月・11月, 31/3月)

○発行部数：約23,000部

○発行方法：双葉地域8町村発行広報紙への掲載または広報紙への差込み

○発送方法：福島県避難者支援課ゆうメール等を活用

○掲載テーマ

5月「双葉地域の医療体制整備に向けて」

- 健康寿命シリーズNO1「福島県における健康増進への取り組み」
- 9月 健康寿命シリーズNO2「糖尿病・骨粗鬆症対策」
- 11月 福島県ふたば医療センター附属病院の患者状況・内容
- 健康寿命シリーズNO3「認知症対策」
- 3月 多目的医療用ヘリ導入・運航開始
- 健康寿命シリーズNO4「肺炎予防」
- 3) 避難地域医療機関等の診療状況等の周知
  - 地域ケア会議等において双葉地域の医療機関等の開設状況を説明し、資料提供

## 7 多目的医療用ヘリの運航支援

- 1) 多目的医療用ヘリ格納庫の整備
  - ・構造 鉄骨造平屋建 床面積 236.6 m<sup>2</sup>
  - ・格納庫、待機室のほか給油設備、航空灯火設備等を整備。
- 2) 多目的医療用ヘリ運航へ向けた準備
  - 運航調整委員会への参加
  - 病院局・医療センター、病院経営課との打合せに参加
    - ・打合せ内容
      - 多目的医療用ヘリ導入スケジュール、要請基準、運航基準、運航要領、医療機器、運航開始に向けた流れ 等
  - 蓬萊地区町会長連合会役員会においてヘリ導入・運航開始に向けた説明会を開催
    - ・福島市「市政だより」に蓬萊地区を対象として「多目的医療用ヘリの導入・運航開始のお知らせ」を差込み、町内へ480部配布
- 3) 多目的医療用ヘリの運航支援
  - 30.10.29 ヘリ運航開始（平日のみ）→センター教員（ヘリ担当）の派遣調整
  - 31.4.1 →センター教員（ヘリ担当）の増員
  - 令和元.6.1 土日等における運航開始：365日運航体制へ移行
    - 土日等休日におけるセンター教員の勤務割当を実施